



# 読者の声お返事コーナー S ホームページ v e r s

## 吹

上浜のすぐそばで育った私は、海岸や松林がある事があたり前でした。日本三大砂丘の中でも最も全長が長いということを最近になって知りました。中学生の頃、トレーニングで砂浜を走った事、夏休みの自由研究で貝がら採取をしていたことを思い出しました。悩んだり行き詰った時に、水平線に沈む夕陽を眺めながら何度心があらわれた事でしょうか。今考えてもぜいたくな青春時代でした。

(M・O 日吉町 30代女性)

お便りありがとうございます。

吹上浜に沈む夕陽、身近にある風景ですが、ほんとうにぜいたくなものだと感じます。わたしも鹿児島を離れ上京していた頃、鹿児島に戻るたびに桜島の素晴らしさを感じていました。

先日、「ウミガメ観察会」、夕陽の沈む吹上浜を歩いていると、若者たちが語らっているところを見ました。「ぜいたくな時間」は次の世代にも引き継がれているようです。

## 10

年余前、海岸清掃に行つてびっくりしました。白砂が短く、昔は夏休みには海水浴場で賑わい、松林には仮設店があるものでした。干潮時には、あさり貝、白貝もとれるものでした。それにサンドジョギング大会開催されて、遠い所では北海道から来られた方もあったように思ひ出します。

私も第1回目は参加させてもらいましたが、あれ程きついものとは思っていませんでした。最初で最後でした。

(秋が恋しい 日吉町 70代女性)

お便りありがとうございます。

わたしも吹上浜で潮干狩りをした思い出があります。もう20年以上前のことです。その頃比べると浜の景色も変わってきたのかもしれない。

海水浴場やサンドジョギング大会、どれも大切な“渚の思い出”ですよ。若い人たちもこの吹上浜で大切な思い出を作ってもらうために、守っていかないといいませんか。

## 今月のお題～渚のおもいで～

## 海

、渚といえども口マンチックなイメージがあります。市川修一さんと増元るみ子さんが何ものかにつれさらされたのが吹上浜でした。スリッパが片方だけ残された新聞かテレビの画面、今でも気味悪く思い出されます。本当に世の中ひどいことがあるものです。早く帰ってきて欲しいですね。

(夜は外出したくない 伊集院町 70代女性)

お便りありがとうございます。

本当に世の中いやな事件が多いですね。わたしの子どもが大きくなって、夜遅く帰つてこなかったら不安でたまらなくなると思います。そんな心配のない、本当に平和な世の中が来てほしいです。

## 県

内をドライブした時、美しい海岸線が見えて立ち寄りました。岩場に囲まれたそこは、人がほとんど立ち入らず、奥へ進んで行くと、プライベートビーチのような空間が現れました。当時付き合っていた彼氏と子供のようにはしゃぎながら、時を忘れて遊んだのを覚えています。今度は産まれてくる子供と3人でまた行けたらなあと思います。

(夏海 吹上町 20代女性)

お便りありがとうございます。

プライベートビーチ、すてきな思い出ですね。産まれてくるお子さんもきつと気に入ることだと思えます。県内にもそんなところがあるんですね。ちよつと詳しく場所とかききたいところですけど、誰にも教えずに内緒にしてください。